



## 目次

- |          |              |
|----------|--------------|
| ① 支部通常総会 | ④ 部会活動報告     |
| ② 行政ニュース | ⑤ 各部会行事予定    |
| ③ トピックス  | ⑥ 事務局からのお知らせ |
|          | ⑦ 会員名簿       |

中部支部ニュース

支部通常総会

## 第13回 支部通常総会



一般社団法人 日本建設機械施工協会中部支部第13回(名称変更前から通算すると第67回目)通常総会は、5月16日(木)、ウィルあいち 愛知県女性総合センターに於いて団体会員141社のうち、135社(うち委任状47社)の出席のもと開催されました。

最初に浅野和広支部長の挨拶で始まり、その後、浅野支部長が議長として議事を進行し、以下の議案について承認可決され、その後、本部表彰規程による会長表彰、令和6年度建設機械優良技術員表彰が行われました。各表彰者は 2.本部表彰規程による表彰及び 3.令和6年度建設機械優良技術員表彰のとおりです。

通常総会終了後に令和6年能登半島地震において、「広域災害等における災害対策用機械の運転支援に関する協定」で出動した以下の表の18社の中から第2陣で出動した中日建設(株)の大山諒人氏より災害派遣報告を行って頂きました。

なお、この18社及び当支部は4月26日に中部地方整備局より感謝状を拝受いたしました。



能登半島地震災害派遣報告

支援機種及び期間	派遣協力会社
照明車第1陣 R.6.1.4～10	若築建設(株)、山旺建設(株)、岐建(株)、 (株)山辰組、東亜建設工業(株)
照明車第2陣 R.6.1.9～17	シブキヤ建設(株)、徳倉建設(株)、 (株)新井組、中日建設(株)、(株)クボタ
照明車第3陣 R.6.1.14～22	(株)加藤建設、(株)近藤組、大林道路(株)、 長坂建設興業(株)、(株)佐藤渡辺
分解型バックホウ、 待機支援車 R6.1	日本キャタピラー(同)、(株)NIPPO、福田道路(株)

災害派遣会員一覧

その後、講演会に移り「建設業における時間外労働の上限規制」について愛知労働局労働基準部地方労働基準監察監督官 石原正和氏より、ご講演を行って頂きました。



講演会

## 1. 議題

### 【決議事項】

- 第1号議案 令和5年度 事業報告承認の件
- 第2号議案 令和5年度 決算報告承認の件
- 第3号議案 中部支部団体会費の改定に関する件
- 第4号議案 1) 令和6・7年度運営委員選任に関する件

### 【報告事項】

- 第4号議案 2) 運営委員会の報告に関する件
- 第5号議案 令和6年度 事業計画に関する件
- 第6号議案 令和6年度 収支予算に関する件

## 2. 本部表彰規程による表彰

### 1) 支部団体会員

(会員期間60年)2社

(株)クボタ中部支社

住友建機販売(株)住友建機教習所愛知教習センター

(会員期間50年)2社

飛鳥建設(株)名古屋支店

(株)丸建サービス

(会員期間40年)2社

西尾レントオール(株)中部支店

福田道路(株)中部支店

(会員期間30年)

(該当なし)

(会員期間20年)1社

(株)東京建設コンサルタント中部支社

### 2) 永年役員

(該当なし)



〈60年表彰〉



〈50年表彰〉



〈40年表彰〉



〈20年表彰〉

## 3. 令和6年度 建設機械優良技術員表彰

(運転部門)7名

石橋建設興業(株) 榊原 利数 様

三建産業(株) 堀 茂孝 様

シブキヤ建設(株) 吉沢 克之 様

新拓興産(株) 日比 雅彦 様

大有建設(株) 和田 雅義 様

(株)NIPPO中部支店 小山 雄大 様

(株)フィールド・サービス 島沢 柊希 様

(整備部門)1名

(株)丸建サービス 吉川 康一 様

(管理部門)

(該当なし)



〈優良建設機械運転員表彰〉



〈優良建設機械整備員表彰〉

# 「令和6年能登半島地震支援について」

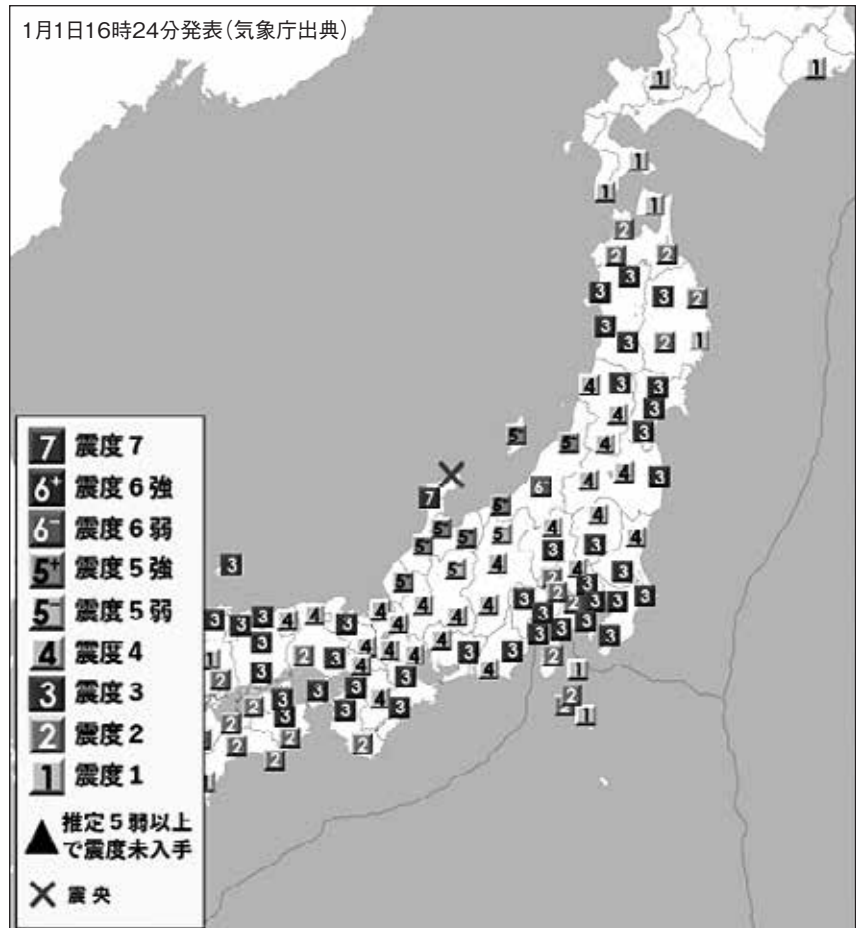
国土交通省 中部地方整備局 防災室  
災害対策マネジメント室

## 1. 諸元

令和6年1月1日16時10分にマグニチュード7.6、深さ16kmの地震が発生し、石川県輪島市、志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測。この地震により石川県能登に対して津波警報を、山形県から兵庫県北部を中心に津波警報を発表されました。

気象庁では、1月1日のM7.6の地震及び令和2年12月以降の一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と定めました。

なお、中部地方整備局管内では、岐阜県高山市、飛騨市で震度5弱、長野県、静岡県、愛知県、三重県の一部地域で震度4を観測しましたが、中部地方整備局管内では被害報告はありませんでした。



## 2. 中部地方整備局の取組

中部地方整備局では、1月1日に災害対策本部を設置し、同日よりTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)として北陸地方整備局に先遣隊を派遣したのを始まりに、3月30日まで被災地支援を実施しました。

令和6年能登半島地震において、中部地方整備局のTEC-FORCEは、整備局職員が359人、延べ、2,191人・日、建設業などの企業従事者が337人、延べ2,089人・日を派遣しました。これは、平成20年度のTEC-FORCE創設以来、平成23年の東日本大震災に次ぐ過去2番目の派遣人数でした。

派遣内容としては、河川、砂防、道路、建築、港湾の被災状況調査や、照明車、待機支援車などの対策用機械を使った支援を実施しました。

派遣場所については、3県8市5町にて、現地での情報収集、被災状況調査など、早期復旧に向けた地方公共団体の支援を実施しました。

### 1) 派遣箇所

石川県：金沢市、内灘町、かほく市、穴水町、志賀町、羽咋市、宝達志水町、七尾市、珠洲市、能登町、輪島市  
富山県：氷見市  
新潟県：新潟市



【道路班】法面崩落箇所の被災状況調査



【砂防班】崩落箇所の被災状況調査



【建築班】応急危険度判定調査



【照明支援班】照明車による道路啓開補助



待機支援車



【トイレ支援車班】トイレ支援

## 2) 調査実績

主な調査実績は、県管理施設について、砂防102箇所、道路105箇所の調査を実施しました。

市町については、河川：珠洲市5箇所、砂防：輪島市80箇所、道路：七尾市154箇所・珠洲市528箇所・能登町205箇所調査を実施しました。

## 3. 支援物資

支援物資は、中部地方整備局及び災害協定を締結している日本建設業連合会、日本埋立浚渫協会中部協会より備蓄の飲料水を500ミリリットル換算で約5万本、ブルーシート約5,500枚などを1月2日からいち早く被災地に輸送しました。

## 4. 最後に

中部地方整備局管内におきましても、リアス式海岸など、能登半島と同じような地形的特徴を有する半島を抱えており、南海トラフ地震が発生した場合、甚大な被害が想定される伊豆エリアと伊勢志摩・東紀州エリアを対象に、人命救助等を目的とした『南海トラフ地震における半島・沿岸初動戦略検討会』を立ち上げました。

今回の能登半島地震においては、災害協定に基づき多くの企業より企業従事者の方を派遣していただき誠にありがとうございました。救援・救助活動を行うための社会インフラの早期復旧・復興が求められているなか、建設会社をはじめとする建設業の協力が不可欠となっています。災害発生時に最初に対応していただくのは建設業の皆様です。一緒にこの地域を守るパートナーとして、引き続きご協力をよろしく願います。

# 産業・交通の集積地 天竜川中下流域を守る 天竜川ダム再編事業を推進 「天竜川ダム再編工事事務所」を開設

国土交通省中部地方整備局 天竜川ダム再編工事事務所

## 1. 天竜川流域の概要

天竜川は、八ヶ岳を源流とした大小30あまりの河川が諏訪湖に流水を集めた後、天竜川として長野県南部、愛知県東部、静岡県西部を貫いて太平洋に注ぐ、幹川流路延長約213km、流域面積5,090km<sup>2</sup>の我が国有数の大川です。

天竜川の流域は、長野県諏訪市、伊那市、駒ヶ根市、飯田市、静岡県浜松市、磐田市などの10市12町15村からなり、下流域内には、JR東海道新幹線、JR東海道本線、東名高速道路、新東名高速道路等が、上流域にはJR中央本線、中央自動車道などが横断しており、日本の動脈となる鉄道、幹線道路が集中している交通の要衝です。



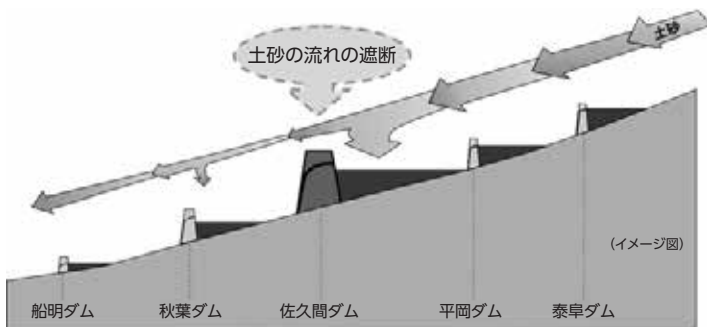
昭和57年8月洪水  
(浜松市鹿島橋付近)

## 2. 天竜川流域の課題

(治水の課題)

天竜川は「あばれ天竜」と呼ばれ、沿川では古くから大きな洪水被害をたびたび受けており、近年も河岸の欠壊や家屋の浸水などが生じています。

沿川に広がる扇状地は豊富な地下水や交通の利便性に恵まれ、ものづくりの地域として発展しており、洪水被害の危険性を小さくすることが求められています。



(土砂移動の課題)

天竜川の流域は中央・南アルプスに挟まれた急峻な地形と、中央構造線などが縦断する脆弱な地質により、大量の土砂が流出しますが、その大部分がダム貯水池に堆積するため、山から海までの土砂移動が妨げられています。

中田島砂丘やアオウミガメの産卵で知られる遠州灘沿岸は海岸侵食が進んでおり、天竜川からの土砂供給の増加が求められています。

### 3. 天竜川ダム再編事業の概要

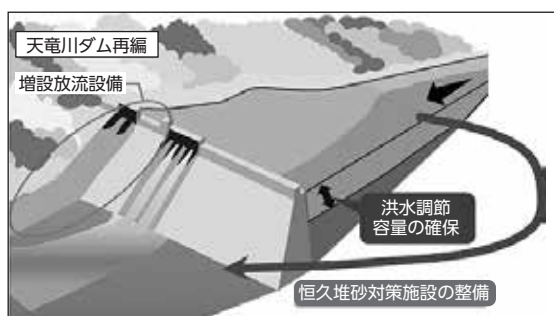
天竜川ダム再編事業は、既設の利水専用ダムである佐久間ダムを有効活用して、新たに洪水調節機能を確保することにより、天竜川中下流部の洪水被害の防止・軽減を図るものです。また、佐久間ダムにおける恒久的な堆砂対策を実施することにより、土砂移動の連続性を確保して貯水池の保全を図り、海岸侵食の抑制等への寄与を目指すものです。

#### 【洪水調節】

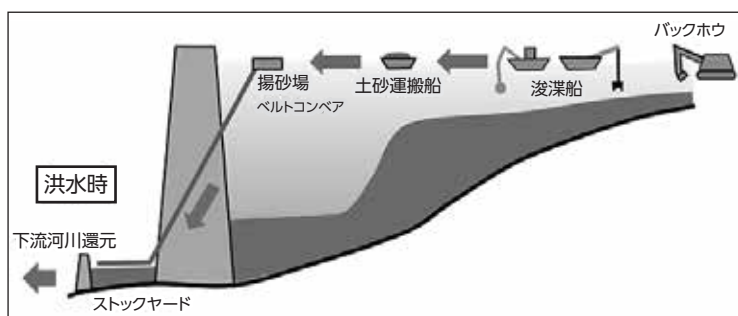
新たな5,400万m<sup>3</sup>の洪水調節容量の確保と、増設放流設備の整備により、上流域の大雨による洪水の一部をダムに貯留し、下流河川を流れる洪水量を減らし、河川からの溢れや堤防が壊れることを防ぎます。

#### 【恒久的な堆砂対策】

平常時に、ダム貯水池に流入する土砂をダム下流側のストックヤードに運搬・集積して、洪水時のダム放流水を利用してダム下流の河川へ還元することにより、確保した洪水調節容量を維持するとともに、遠州灘沿岸の海岸侵食の抑制に寄与します。



恒久堆砂対策のイメージ



天竜川ダム再編事業のイメージ

### 4. 天竜川ダム再編工事事務所を開設

天竜川ダム再編事業の更なる事業推進を図るため、令和6年度より「天竜川ダム再編工事事務所（静岡県磐田市）」を設置しました。

事務所開設にあたり、事務所所在地の磐田市長をはじめ、浜松市長、県・自治体の行政関係者や電源開発（株）、事務所看板の制作にご協力を頂いた地元天竜高校の生徒の方々の参列により、4月8日（月）に開所式を開催しました。



新事務所開所式・看板披露の様子

### 5. 地域と連携した取り組み

佐久間ダム周辺地域では、地域の関係者による「佐久間と天竜川の未来プロジェクト」や「#佐久間ダム際ワーキング」など、ダムを活用した様々な地域活性化の取組が行われています。本事業においてもこうした取組と連携しつつ、地域の安心安全の実現に向けて事業を推進して参ります。

# i-Construction2.0(建設現場のオートメンション化)

国土交通省 中部地方整備局 企画部 施工企画課

国土交通省では、建設現場の生産性向上の取組として、2016年度より、ICT施工をはじめとする「i-Construction」の取組を進めてきました。

今後、更なる人口減少が予測されるなか、国民生活や経済活動の基盤となるインフラの整備や維持管理を、将来にわたって持続的に実施していくことが必要であることから、これまでの取組をさらに一歩進めた「i-Construction2.0」を2024年4月に策定しました。

i-ConstructionのトップランナーであるICT施工は、2022年度時点において、ICT施工を実施できる直轄土木工事の87%で実施しており、2015年度と比較して、平均約21%の作業時間の短縮効果を確認している。

都道府県・政令市においても2016年度は84件だったICT施工の公告件数が、2022年度には13,429件と大幅に増加しており、全国において着実に取組が普及している。

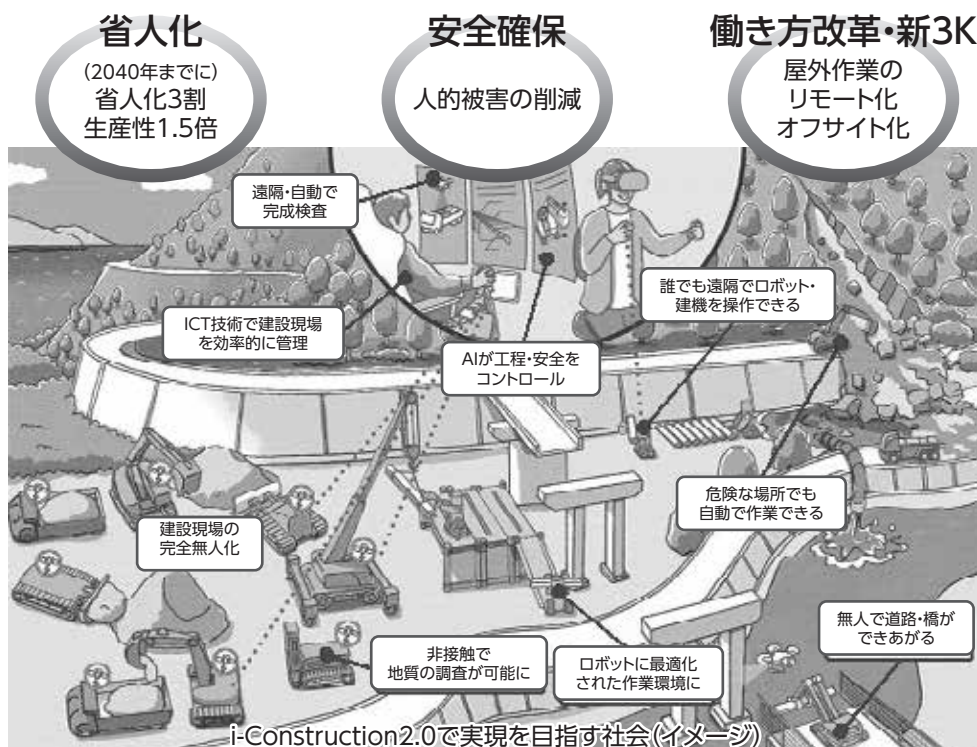
このように、i-Constructionの取組は裾野が広がり、建設現場の生産性向上は一定の効果が確認されているところである。

一方で、一人で複数台の建設機械を同時に操作する技術や、陸上、海上の双方における工事の自動化技術は一般化が進んでおらず、現状の取組のみでは生産性の向上は頭打ちである。

今後の人口の減少下において、社会資本の整備・維持管理を持続していくためには、更なる抜本的な省人化対策に取り組む必要があることから、これまで進めてきたi-Constructionの取組をさらに深化した「i-Construction2.0」において、デジタル技術を最大限活用し、建設現場のあらゆる生産性プロセスのオートメンション化に取り組み、少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場の実現を図るものである。

この「i-Construction2.0」では、2040年度までに省人化3割、生産性1.5倍を目標に、「施工のオートメンション化」、「データ連携のオートメンション化」、「施工管理のオートメンション化」に取り組むことで、建設現場のオートメンション化の実現を目指します。

中部地方整備局においても、今後、積極的に取組んでいきます。





●建設現場のオートメーション化に向けた3つの柱と、その取組内容

1. 施工のオートメーション化

一人当たりの生産能力を向上するため、各種センサーにより現場の情報を取得し、AIなどを活用して自動的に作成された施工計画に基づき、一人のオペレーターが複数の建設機械の動作を管理する「施工のオートメーション化」を推進する。

自動施工における安全ルール策定	●2024年度は安全ルールを実現場に適用する試行工事を実施するとともに、自動建設機械の機能要件や施工管理要領等の策定に向けた検討・検証に取り組む。
施工データ共有基盤整備	●自動施工に必要な建設現場のデジタル化・見える化を目的に、建設機械により取得される施工データを集約し、活用するための共通データ環境(施工データプラットフォーム)を整備する。
自律施工技術基盤 OPERA	●建設施工の自動化・遠隔化技術の開発がより促進される環境整備のため、誰でも利用できるオープンな研究開発用プラットフォームである「自動施工技術基盤OPERA(Open Platform for Earthwork with Robotics and Autonomy)」の整備を進める。
遠隔施工技術の普及促進	●2024年度は遠隔施工技術の普及拡大に向けて災害対策時以外の施行現場での試行工事の実施に取り組む。
ICT施工の原則化	●2025年度からICT施工(土工・浚渫工(河川))を原則化して、施工データを取得する環境の徹底を図る。

2. データ連携のオートメーション化(デジタル化・ペーパーレス化)

BIM/CIMによる建設生産プロセス全体のデータの連携	●2026年度を目標に進めている積算システムの改良に合わせ、3次元モデルや設計支援ソフトウェアで算出される数量を直接積算に活用できるよう、必要なツールを開発し実際の業務で試行する。
3次元モデルの標準化と契約図書としての活用に向けた取組	●2024年度からは、3次元モデルを標準化するにあたっての課題を整理するとともに、業務全体ではなくとも、試行可能な分野から取組を進めていくとともに、関係業団体と連携し、3次元モデルを標準化し、契約図書として活用するにあたってのロードマップを策定する。
デジタルツインの活用による現場作業の効率化	●デジタルツインの技術を活用して、設計情報をAR・VRにより現場に投影し、施工のイメージを関係者全員で共有することで、手戻りやミスの防止、効率的な作業の実施につなげ、現場作業の効率化を進める。
施工データの活用の効率化	●国土交通省が保有する電子納品・保管管理システムの改良等を検討する。
データ活用による書類の削減	●施工管理関連情報(工程、出来形・品質、図面、写真等)の共有や効率的な活用に向け、プロジェクトチームを立ち上げて、ASPの拡充について検討する。

3. 施工管理のオートメーション化(リモート化・オフサイト化)

リモート監督検査	●現場における監督検査のデジタル化にも取り組んでおり、2023年度からはカメラ画像の解析による構造物配筋の出来形検査を開始している。今後更に計測項目の拡充や精度の向上に取り組んでいく。
ロボットによるリモート検査	●国土交通省の施設内にてロボットによる表示ランプやメータリングの確認、スイッチ操作の動作試験を行っており、今後は山岳地や離島の施設における試験を進めていく。
高速ネットワークの整備	●日本全国を100Gbpsの高速・大容量回線で接続し、地方整備局等が発注者として率先して3次元モデル等の大容量データを円滑に利用できるよう、高速ネットワーク環境を末端まで整備する。
プレキャストの活用	●プレキャスト製品の規格ごとの適用検討や、活用事例集の作成などを進めており今後、価格以外の要素を考慮し最大価値について検討を行うVFM(Value for Money)の評価手法の確立、実施要領の策定に取り組んでいく。
ドローンやAIなどの先進技術の積極的な活用	●ドローンやAIといった先進技術を積極的に活用することで、建設現場における働き方改革の促進や施工管理における屋外作業のリモート化・オフサイト化を目指す。

【令和6年度新規事業化箇所】

国道158号 中部縦貫自動車道 高山東道路(平湯～久手)について

国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所

1. 中部縦貫自動車道 高山東道路(平湯～久手)の概要

<事業の概要>

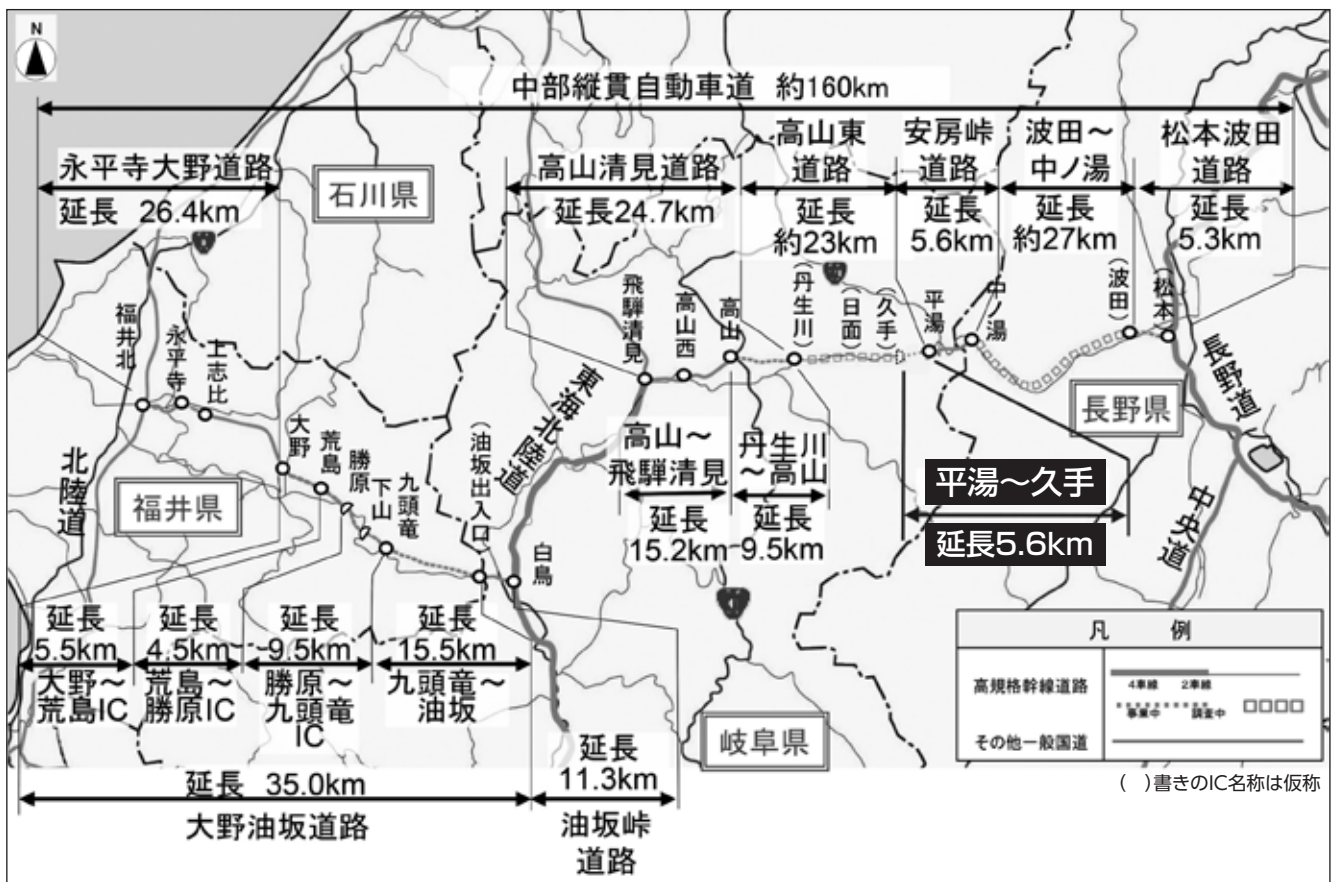
中部縦貫自動車道は長野県松本市を起点とし、岐阜県高山市を經由して福井県福井市に至る総延長約160kmの高規格幹線道路であり、長野自動車道・東海北陸自動車道・北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的として、沿線の文化・観光資源を生かした地域振興や産業経済の発展を支える重要な路線です。

このうち、高山国道事務所では岐阜県内の区間を担当しており、高山清見道路(飛騨清見IC～丹生川IC(仮称))を平成4年度に事業化して、高山IC～飛騨清見IC間の15.2kmが一般国道の自動車専用道路として供用し、現在は丹生川IC(仮称)～高山IC間の9.5kmについて工事を推進しております。

加えて、安房峠道路の平湯IC～高山市丹生川町久手間の5.6kmを高山東道路(平湯～久手)として今年度から新規事業化しています。



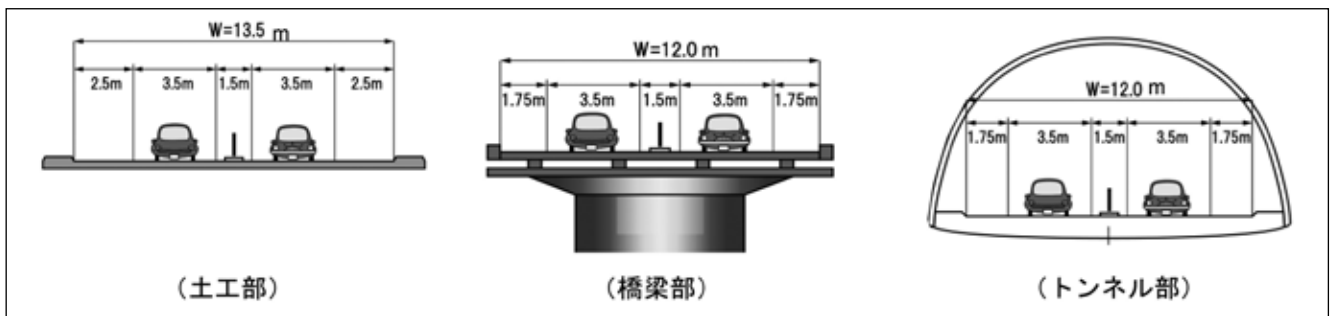
位置図



中部縦貫自動車道 事業位置図



高山東道路(平湯～久手)



標準断面図

<新規事業化までの経緯>

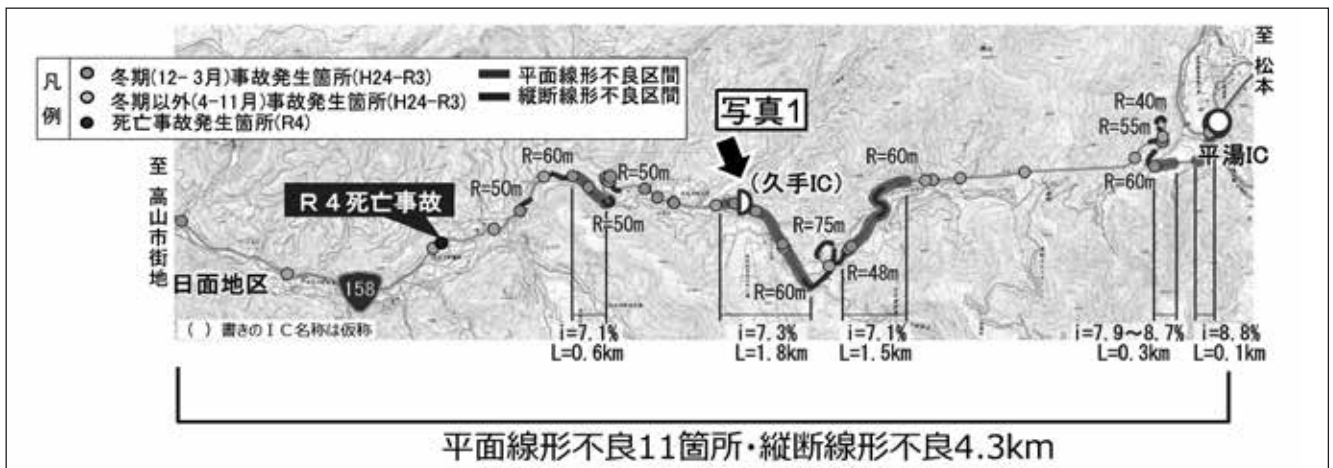
高山東道路における平湯IC～丹生川IC(仮称)間のうち、特に平湯ICから高山市丹生川町日面にかけての現道の国道158号の区間では下記の課題があります。

- ・急カーブ及び急勾配の線形不良区間が存在するため事故のリスクが高い。更に大雪時にはスタック車両による立ち往生が発生
- ・豪雨などでの災害履歴があり、災害時の広域迂回も発生している

写真1



スタック車両による立ち往生(R1.12撮影)



現道の状況

そのため関係機関との検討会などを経て、平湯IC～高山市丹生川町日面の区間を「優先整備区間」と位置付けて、令和元年度より新規事業化に向け計画段階評価に着手しております。

その後、計画段階評価の結果として、「案①全線バイパス案」による対応方針を令和4年度に決定し、今年度に岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯～高山市丹生川町久手(以下、「平湯～久手」)間5.6kmが新規事業化となりました。

## 2. 当事業がもたらす整備効果

「平湯～久手」の整備により下記の効果が期待出来ます。

### ①速達性・定時性の向上による産業活性化の支援

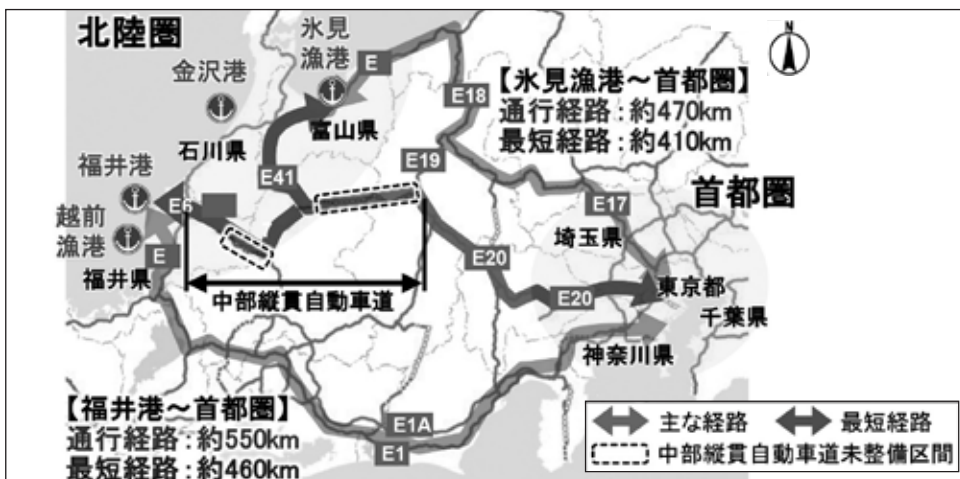
- ・首都圏と北陸圏の速達性が向上し効率的な物流網が構築出来ます
- ・高山市街地と県境を跨ぐ上高地などの主要な観光資源間の移動時間短縮により、観光周遊性の高い道路ネットワークを構築出来ます

### ②交通安全、積雪時の走行性向上

- ・線形不良区間の回避により、冬季をはじめとした通年の走行性、安全性が向上します

### ③被災時に機能する信頼性の高いネットワークの確保

- ・災害時の通行止めに伴う広域迂回の解消により、災害時に対し信頼性の高い道路ネットワークが構築出来ます



首都圏と北陸圏の速達性の向上

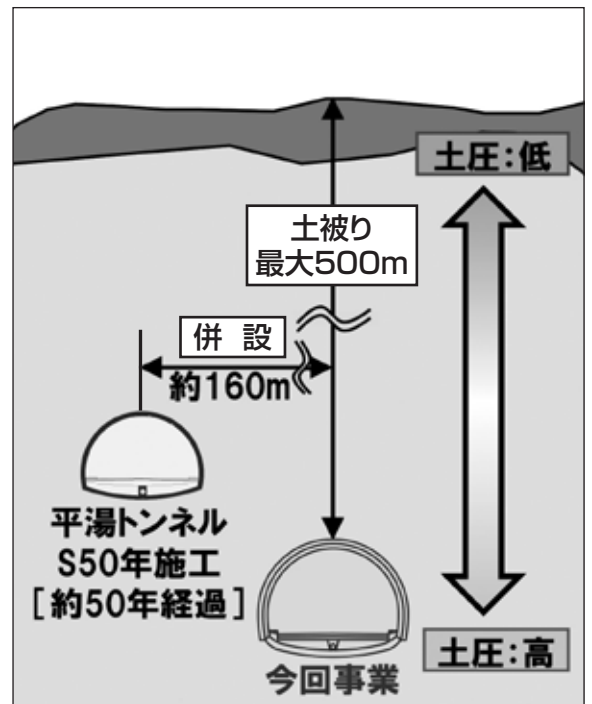


観光資源間の移動

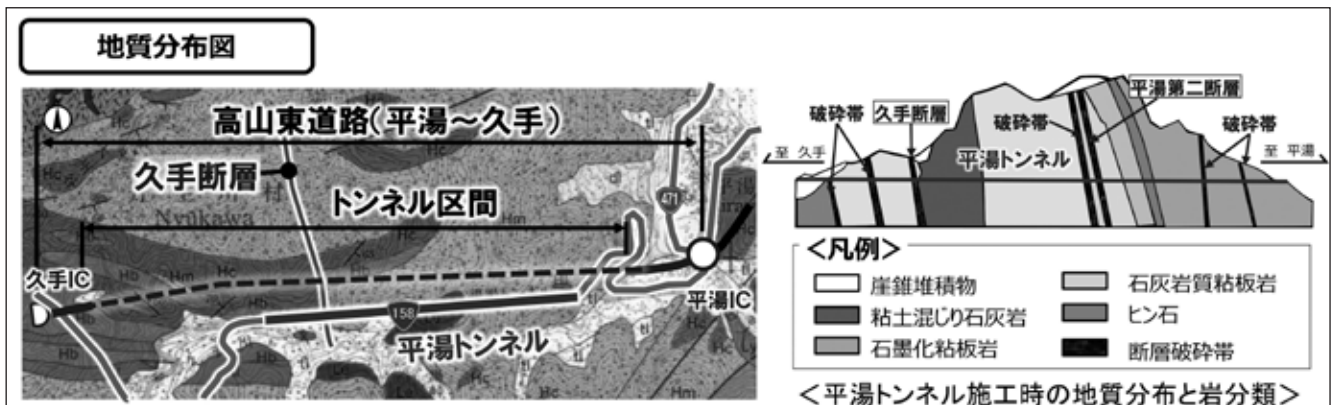
### 3. 今後の予定

地域の方とコミュニケーションを図りながらより良い道路整備を行っていくことは勿論ですが、当事業区間は山岳地に位置し、5.6kmの事業区間のうち約5kmがトンネル構造の計画となっていることから、下記のリスクが想定されるため「着工前重点準備事業」と位置づけて、既存する国道158号「平湯トンネル」の工事实績なども踏まえつつ、重点的に地質調査等を実施していく予定です。

- ・ 地山の滑動による変状リスクのある断層破碎帯や、空洞リスクのある石灰岩質が分布
- ・ トンネル土被りが最大500mあるため、高い土圧による湧水の懸念
- ・ 既設平湯トンネルの工事实績より以下の事象を確認  
(破碎帯部における盤ぶくれ、突発湧水、石灰岩特有の空洞)



トンネル模式図



トンネル計画予定地の地質状況

### 4. 最後に

国道158号中部縦貫自動車道にて事業化された区間の早期完成と、未事業化区間の早期事業化を目指して、関係機関と連携・協力しながら引き続き事業を推進して参ります。

## 令和6年度 日本建設機械施工大賞 地域賞部門 優秀賞受賞 刈草の酸素供給型高速焼却装置「モヤッシー」

—「煙の発生を軽減」し、「生産性の向上」と「働き方改革」を達成!—

株式会社山辰組 取締役会長 博士(農学) 馬淵和三

本技術は、河川の除草工事の「生産性の向上」を達成するために取組んだことがきっかけとなって開発した新技術で、除草工事で刈草の焼却に使用する「酸素供給型高速焼却装置・モヤッシー」である。弊社は、長年に亘り国土交通省直轄河川の除草工事を受注し施工している。そのような折に管轄の出張所長さんが維持管理を請け負っている業者を集めて「河川の維持管理工事の作業に於いて「生産性の向上」が図れる新たな作業方法を考えて欲しい。」とのお話をいただいた。

弊社は毎年、年度替わりに全社員で焼き肉を食べて慰労し、新年度への意欲に繋げている。その席上で国土交通省の維持管理工事を担当している社員2人が前述の「河川の維持管理工事に於ける生産性の向上」の話を紹介に来た。除草工事の生産性向上と言っても、草刈機械や集草機械、刈草の運搬車輛などは、殆んど完成の域に達しており、これ以上技術的向上を図ることは難しいと思われた。しかし、刈草の焼却作業については、旧態依然として煙の発生(写真-1)に対するクレーム対応に追われていたり、焼却作業は天候に左右されるため、工程が遅れた分は時間外や休日作業で挽回しなければならず、現場の作業従事者のストレスの一因となっていた。



写真-1 地面上では煙が発生する

そこで、目の前の焼き肉のプレートが目に留まった。鉄板の下から勢いよく噴射しているガスの炎がヒントとなり刈草の焼却方法を見直してみた。

弊社ではそれまでも刈草を湿気が多い地面上で焼却する効率の悪さに目を向けて、地面から1mほど上げて棒状鋼材を格子状に組んだ架台上で燃やしていた。尚一層の生産性の向上を考えると、幼い頃に薪で風呂を沸かすのを手伝った時に火力を上げるために使っていた「火吹き竹筒」の効果考えた(図-1)。



図-1 火吹き竹筒

焼き肉の鉄板の下から燃え上がるガスの炎の代わりに、刈草の下から圧縮空気(酸素)を燃焼部に向けて噴射することで、焼却作業の生産性の向上が図れるのではないかという話になった。「これだ!」ということとなり、担当者らが「やってみてもイイですか!」と言うので、「よしっ!失敗してもいいのでやってみよう!」ということとなった。

思考錯誤した結果、架台を平面格子形状からV型格子形状(写真-2)に改良してコンプレッサーで圧縮空気を燃焼部に向けて噴射する装置が完成した(写真-3)。架台上で空気を燃焼部に噴射すると800℃~1000℃の高温で完全燃焼して炎の周辺が見透せるほどに煙の発生を軽減することができた(写真-4)、(動画-QR)、(URL:<https://yamatatu.ocm>)。



動画-1 QR

この煙の発生の軽減効果により現場従事者の毎日の苦情対応へのストレスも軽減した。



写真-2 V型モヤッシー



写真-3 コンプレッサー

実験によると刈草の天日による乾燥湿度を60%未満にすれば、完全延焼効果を高め煙の発生が殆んど確認できないほどの焼却作業を行うことができる(写真-4)。焼却作業速度も従来の2倍以上の「生産性の向上」が達成できた。毎年、継続的にモヤッシーを使用している皆さんには、湿度センサーは通販で10,000円前後で入手できるので、天日乾燥の乾燥湿度が60%以下になったのを目安として確認してから焼却するようお願いしている。

これまでは雨天の影響による焼却工程の遅れは休日作業で挽回していたが、「モヤッシー」の焼却機能により、平日だけで挽回できるようになった。これにより、除草工事現場に従事する若年層の作業従事者を含め、土日が休める「働き方改革」に繋がり歓迎されている。



写真-4 炎の周辺が見透せる

現場の発想と意見を多く取り入れ、圧縮空気を燃焼部に吹き付けることで高温で完全燃焼させて煙の発生を軽減。煙が原因となるクレームの発生が激減して現場担当者のストレスも大幅に解消された。また、「酸素供給型高速焼却装置・モヤッシー」により「生産性の向上」が達成できたことにより、従来の地面上の焼却作業の歩掛り単価を下げることもできた。特許を取得し、NETISに「登録番号CB-220020-A」として登録して頂いた。現場の悩みを、現場の発想と工夫で開発した「モヤッシー」の今回の受賞は、課題を自らの創意工夫により解決できた事例として挑戦する心に繋がっている。他の現場従事者も含めイノベーションを高める大きなきっかけになっていると感じているため、心から感謝申し上げます。

モヤッシー焼却 歩掛 1,000m <sup>2</sup> 当たり (従来の人力焼却作業単価を10.4%のコスト縮減を達成!)						
種類	仕様	数量	単価	単価(円)	金額(円)	概要
バックホウ(排対2次)掘装置	クローラ型・山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )クレーン1.7t吊	0.03	日	49,740	1,492.2	R5年度土木工事標準積算基準書より
空気圧縮機(エンジン式)6h	2.5m <sup>3</sup> /分吐出圧力0.7MPa低騒音・超低騒音型	0.03	日	4,128	123.8	R5年度土木工事標準積算基準書より
特許焼却装置使用料	自社設定項目(特許料、機械損料を含む)	1000	m <sup>2</sup>	4.05	4,050	
諸雑費	自社設定項目 重機費・機材費・特許料の合計の5%	5	%		283.30	
					合計	5,949 【1,000m <sup>2</sup> 当たり】
						5.94 【1m <sup>2</sup> 当たり】
従来の人力焼却 歩掛 1,000m <sup>2</sup> 当たり						
種類	仕様	数量	単価	単価(円)	金額(円)	概要
普通作業員		0.3	日	22,100	6,630.0	
					合計	6,630 【1,000m <sup>2</sup> 当たり】
						6.63 【1m <sup>2</sup> 当たり】

企画部会

令和6年度建設機械優良技術員表彰

月 日：5月16日(木)

受賞者：優良建設機械運転員7名  
優良建設機械整備員1名

広報部会

中部支部ニュース第43号

8月に発刊

災害対策部会

令和6年度 三重四川連合総合水防演習

月 日：5月19日(日)

演習参加企業：(株)アミューズワンセルフ

展示参加企業：(株)アミューズワンセルフ、(株)シーティーエス、  
(株)ダイワテック



DX・施工部会

三重県建設技術センター

「令和6年度建設技術研修専門分野  
インフラDX実技演習研修」

月 日：5月31日(金)

研修参加者：三重県職員等40名

講師協力：サイテックジャパン(株)、(株)シーティーエス、  
福井コンピュータ(株)

会 場：中部地方整備局

中部技術事務所DXセンター

建設ICT出前授業

①月 日：6月12日(水)

場 所：駿府学園

受講者：少年院在住者15名

講 師：(株)シーティーエス

甲信営業部長 中山 俊彦 氏

②月 日：6月18日(火)

場 所：中部インフラDXセンター

(中部技術事務所構内)

受講者：名城大学

学生32名、院生・教授等5名 合計37名

講 師：(株)シーティーエス

甲信営業部長 中山 俊彦 氏

建設機械施工管理技術検定試験(筆記)

月 日：6月16日(日)

会 場：愛知学院大学日進キャンパス

受験者：1級330名、2級685名

建設機械整備技能検定試験

月 日：6月25日(火)～6月28日(金)

会 場：愛知県小牧市ポリテクセンター中部

受験者：1級36名、2級121名



## 令和6年度 各部会の行事予定

	春 (4月～6月)	夏 (7月～9月)	秋 (10月～12月)	冬 (1月～3月)	備 考
<b>企画部会</b>					
建設機械優良技術員表彰	5/16(木) (支部総会時)				
<b>広報部会</b>					
支部ニュース		8月中旬			
支部だより			12月下旬		
工事現場見学会			10月上旬		
建設施工研修会(映画会)		9/20(金)			
新機種・新工法発表会					会員会社の申込により随時開催
<b>技術・調査部会</b>					
講演会	5/16(木) (支部総会時)				
技術講演・発表会			11/18(月)		
ICTを活用した建設技術出前授業					申込により随時開催
ICTを活用した建設技術出前講習会					〃
<b>DX・施工部会</b>					
建設機械施工管理技術検定試験(筆記)	6/16(日)				1級・2級
建設機械施工管理技術検定試験(実技)		8/31(土) ～9/1(日)			1級・2級
建設機械整備技能検定実技試験	6/25(火) ～6/28(金)				1級・2級
道路除雪講習会			10/25(金):高山 11/8(金):名古屋		
<b>災害対策部会</b>					
愛知県ブロック 災害対策用機械操作訓練	5/23(木)・5/24(金) 6/6(木)・6/7(金) 6/13(木)・6/14(金)				
災害又は事故における中部地方整備局所管 施設等の応急対策の支援に関する協定					災害応急支援随時
広域災害等における災害対策用機械 の運転支援に関する協定					災害応急支援随時

## 発刊図書一覧

(令和6年8月現在)

発行年月	図書名	一般価格(税込)	会員価格(税込)	送料(税込)
R6年5月	大口径岩盤削孔工法の積算 令和6年度版	6,600	5,610	770
R6年5月	橋梁架設工事の積算 令和6年度版	12,100	10,285	990
R6年5月	よくわかる建設機械と損料2024	7,260	6,171	770
R6年4月	令和6年度版 建設機械等損料表	9,680	8,228	770
R5年10月	道路除雪施工の手引(第17版)	4,950	3,960	770
R5年5月	橋梁架設工事の積算 令和5年度版	12,100	10,285	990
R4年5月	大口径岩盤削孔工法の積算 令和4年度版	6,600	5,610	770
R4年5月	よくわかる建設機械と損料2022	6,600	5,610	770
R4年3月	日本建設機械要覧 2022年版	53,900	45,100	990
R3年1月	情報化施工の基礎 ~i-Constructonの普及に向けて~	2,200	1,870	770
H29年4月	ICTを活用した建設技術(情報化施工)	1,320	1,122	770
H26年3月	情報化施工デジタルガイドブック 【DVD版】	2,200	1,980	770
H25年6月	機械除草安全作業の手引き	990	880	770
H23年4月	建設機械施工ハンドブック(改訂4版)	6,600	5,610	770
H22年7月	情報化施工の実務	2,200	1,870	770
H21年11月	情報化施工ガイドブック2009	2,420	2,178	770
H19年12月	除雪機械技術ハンドブック	3,300	2,970	770
H18年2月	建設機械施工安全技術指針・指針本文とその解説	3,520	2,992	770
H15年7月	建設施工における地球温暖化対策の手引き	1,650	1,485	770
H15年6月	道路機械設備 遠隔操作監視技術マニュアル(案)	1,980	1,782	770
H15年6月	機械設備点検整備共通仕様書(案) 機械設備点検整備特記仕様書作成要領(案)	1,980	1,782	770
H15年6月	地球温暖化対策 省エネ運転マニュアル	550	495	770
H13年2月	建設工事に伴う騒音振動対策ハンドブック(第3版)	6,600	5,940	770
H12年3月	移動式クレーン、杭打機等の支持地盤養生マニュアル(第2版)	2,750	2,475	770
H11年10月	機械工事施工ハンドブック 平成11年度版	8,360	7,524	770
H11年4月	建設機械図鑑	2,750	2,475	770
H9年5月	建設機械用語集	2,200	1,980	770
H6年8月	ジオスペースの開発と建設機械	8,470	7,623	770
H6年4月	建設作業振動対策マニュアル	6,380	5,742	770
	建設機械履歴簿	440	396	770

※令和5年4月1日から、一部図書および送料の価格を変更しております。

(単位:円)

※送料は複数冊の場合変わります。

問い合わせ先

(一社)日本建設機械施工協会 中部支部

名古屋市中区錦3-7-9 太陽生命名古屋第2ビル 7階  
TEL(052)962-2394 FAX(052)962-2478  
<https://www.jcma-c.jp/>

会員名簿(142社)

令和6年8月現在

電力会社(1社)

中部電力(株)
---------

製造業(28社)

宇野重工(株)名古屋営業所 (株)荏原製作所中部支社 (株)共栄社 (株)クボタ中部支社 コベルコ建機日本(株)中部支社 佐藤鉄工(株)名古屋営業所 (株)三協メカニク (株)篠田製作所 ゼニヤ海洋サービス(株)大阪営業所 ダイハツディーゼル(株)名古屋支店	大和機工(株) (株)鶴見製作所中部支店 (株)電業社機械製作所名古屋支店 (株)西島製作所名古屋支店 仲山鉄工(株) 西田鉄工(株)名古屋営業所 日東河川工業(株)東海営業所 日本キャタピラー(同) 日本車輛製造(株) 阪神動力機械(株)	範多機械(株) 日立建機日本(株)中部支社 (株)日立インダストリアルプロダクツ中部支店 日立造船(株)中部支社 豊国工業(株)中部支店 豊和工業(株) (株)丸島アクアシステム名古屋営業所 (株)丸徳鉄工
--	---	--

建設業(85社)

(株)IHIインフラ建設中部支店 アイトム建設(株) あおみ建設(株)名古屋支店 (株)秋吉組 (株)新井組名古屋支店 (株)安藤・間名古屋支店 石橋建設興業(株) (株)伊藤工務店 荏原商事(株)中部支社 大林道路(株)中部支店 (株)オカシズ 岡田建設(株) (株)奥村組名古屋支店 奥村組土木興業(株) (株)ガイアート中部支店 鹿島建設(株)中部支店 鹿島道路(株)中部支店 (株)加藤建設 加藤建設(株) 神野産業(株) (株)川瀬組 (株)キクテック 岐建(株) 木村建設(株) (株)國井組 (株)熊谷組名古屋支店 (株)鴻池組名古屋支店 五洋建設(株)名古屋支店 (株)近藤組	佐藤工業(株)名古屋支店 (株)佐藤渡辺中部支店 山旺建設(株) サンリツ工業(株) (株)施設技術研究所 シブキヤ建設(株) 清水建設(株)名古屋支店 (株)新栄重機 鈴中工業(株) 西濃建設(株) 大旺新洋(株)名古屋土木支店 太啓建設(株) 大成建設(株)中部支店 大日本土木(株) 大有建設(株) 高田建設(株) 中日建設(株) 中部土木(株) 中部ロード・メンテナンス(株) (株)テクアノーツ中部事業所 東亜建設工業(株)名古屋支店 東亜道路工業(株)中部支社 東急建設(株)名古屋支店 東洋建設(株)名古屋支店 (株)所組 徳倉建設(株) 戸田建設(株)名古屋支店 飛鳥建設(株)名古屋支店 長坂建設興業(株)	中村建設(株) 名古屋電機工業(株) インフォメックス営業本部営業部中部支店 西松建設(株)中部支店 (株)NIPPO中部支店 日本道路(株)中部支店 日本ハウエィ・サービス(株)名古屋支店 日本ロード・メンテナンス(株)名古屋営業所 (株)野田クレーン (株)ヒメノ 福田道路(株)中部支店 藤城建設(株) (株)フジタ名古屋支店 富士ロードサービス(株) (株)不動テトラ中部支店 前田道路(株)中部支店 水谷建設(株) 水野建設(株) 三井住友建設(株)中部支店 みらい建設工業(株)中部支店 村本建設(株)名古屋支店 名工建設(株) 矢作建設工業(株) ヤマダインフラテクノス(株) (株)山辰組 吉川建設(株)名古屋支店 若築建設(株)名古屋支店 (株)渡邊組
--	--	--

商事会社(7社)

英和(株)名古屋営業所 (株)NTジオテック中部 大竹建機産業(株)	(株)快適空間FC コマツカスタマーサポート(株)中部カンパニー (株)千代田組中部支店	福井コンピュータ(株)中部営業所
--	--	------------------

機械整備業(4社)

住友建機販売(株)住友建機教習所 (株)整備工場東海葵工場	ブルドーザー整備(株) マルマテクニカ(株)名古屋事業所	
----------------------------------	---------------------------------	--

コンサルタント業(3社)

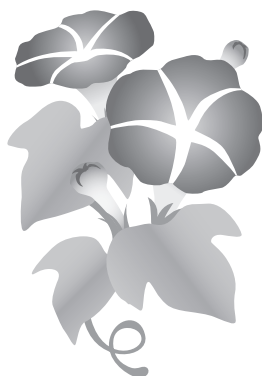
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング中部支社	エースコンサルタンツ(株)中部支店	(株)中部テクノス
------------------------	-------------------	-----------

レンタル業(6社)

(株)アクティオ中日本支社 (株)ダイワテック	瀧富工業(株) 西尾レントオール(株)中部支店	(株)前田製作所名古屋支店 (株)丸建サービス
----------------------------	----------------------------	----------------------------

その他(8社)

(株)内田商会 (株)建設システム サイテックジャパン(株)	(株)シーティーエス名古屋支店 (株)東京建設コンサルタント中部支社 日本工営都市空間(株)	(一社)日本鋼構造物循環式プラスト技術協会 リーグルジャパン(株)
--------------------------------------	--	--------------------------------------



編集後記

今年度より広報委員会の役員が変わり2024年度がスタートしました。

2024年といえば、4月から土木業界の「働き方改革」が法適用になり、罰則付き時間外労働の働き方の改善には関係業界の方々のご苦労されていることと思います。

広報委員のメンバーの平均年齢は??歳と昭和後期から平成初期にこの業界に入った方ばかりで、当時は今日のインフラ分野におけるDXの力を借りた遠隔化や自動化の時代なることは夢にも及ばない想像をはるかに超えている時代となっております。(そう思うのは本人のみか?)そして、2040年度までに国交省はi-construction2.0を実現する目標を掲げております。建設工事のオートメーション化に向けてワクワクする様な技術が本誌編集事務局にお届けいただけることを心よりお待ちしております。

編集部一同